

おokayama生体信号研究会第21回例会のご案内

日時：平成27年2月18日(水) 13:00～14:30

場所：岡山大学鹿田キャンパス内 Junko Hukutake Hall

<http://j-hall.med.okayama-u.ac.jp/>

内容：

13:00～13:05 開会挨拶

13:05～13:45

講演1 「脳虚血のエネルギー障害とその治療」

岡山大学病院集中治療部 准教授 武田 吉正氏

概要：脳はエネルギー障害を起こしやすい臓器である。エネルギーが涸渇すると神経細胞障害が発生する。脳のエネルギー状態を可視化し、神経細胞障害への影響を明らかにした。この知見を元に心停止蘇生時の脳保護法（咽頭冷却）を開発した。咽頭冷却は頸動脈を冷却し血行性に脳の温度を低下させる脳保護法である。現在の状況と今後の開発の方向性について報告する。

13:45～13:50 休憩

13:50～14:30

講演2 「知っておきたい筋電制御インタフェースの基本」

東京電機大学理工学部 准教授 大西謙吾氏

概要：人工肢の筋電制御は1960年代末に研究、開発が始まり、現在では筋電制御式の義肢装具も実用化され、数多くの研究事例も報告されている。その反面、初期導入時のハードルは低いとはいえ、断念事例も少なくない。本講演では、義手の開閉制御用の信号処理や判別処理の解説から始め、筋電センサの設定条件が信号に及ぼす影響についての実験を紹介する。また、指先の力制御のインタフェースとしての筋電制御方式とワイヤ制御方式について、人間の手での把持と比べた実験を紹介しつつ、筋電制御インタフェースに期待すべき特徴について述べる。

14:30 閉会